



Environmental Management Report

環境経営レポート

2023 ((臨時版))

〈2023年10月1日 ▶ 2023年12月31日〉

2024年 1月31日 作成



目次

| | | |
|-----|--|------|
| 1. | 会社概要・事業内容 | -1- |
| 2. | 実施体制 | -3- |
| 3. | 環境経営方針 | -4- |
| 4. | 環境経営目標 | -5- |
| 5. | 環境経営計画 | -7- |
| 6. | 環境経営目標の実績 | -8- |
| 7. | 環境経営計画の取組結果と評価 次年度の目標及び計画 | -13- |
| 8. | 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 | -16- |
| 9. | 環境活動の紹介 | -17- |
| 10. | 代表者による全体の評価と見直し・指示 | -20- |

1-1.会社概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 今井工務店 代表取締役社長 今井 頌治

2. 所在地

本社 長野県北安曇郡小谷村大字北小谷1850 6

給油取扱所 新潟県糸魚川市中川原2685-9

資材倉庫 長野県北安曇郡小谷村大字北小谷1224 3

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

EA21責任者 : 管理部長 今井 康之介

EA21事務局 : 総務部 松澤 美甫

連絡先

0261-85-1021

✉ imaikoum@imai-1963.co.jp

4. 事業内容（認証・登録の範囲）

建設業（土木工事・建築工事）

産業廃棄物収集運搬業

石油製品販売業

5. 事業の規模

資本金 3000万円

売上高 11億8千800万円（2022年度）

従業員数 34名

本社建物 鉄骨造2階建て 延床面積 551.38m²

設立年月日 1977年4月1日



弊社のマスコットキャラクター

1-2.事業内容

弊社の事業内容は、**土木工事**・**建築工事**が主となります。土木工事部門では、危険な災害復旧現場を安全かつ円滑に工事を進める事ができる**無人化機械施工**にも力を入れています。

土木・建築工事の活動エリアは、**長野県大北地区**が中心となります。
無人化機械施工につきましては、弊社の**高い技術力**が認められ、北は北海道・南は沖縄まで、**日本全国**を舞台として活動しております。

土木工事



ヒノミコ沢砂防堰堤工事

建築工事



沓掛古民家改修工事

無人化機械施工



福島第一原子力発電所
災害復旧工事

産業廃棄物収集運搬業の実績（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

許可の内容

許可番号：2005080808
許可年月日：令和3年10月30日
有効年月日：令和8年10月29日

施設等の状況

運搬車両
2t・3t・4tダンプ(各1台)・10tダンプ(3台)
4tユニック(1台)・10tユニック(1台)

事業の範囲

建設現場等で発生した**産業廃棄物**を排出
事業者から依頼を受け、**中間処理施設**まで
運搬する。 特別管理産業廃棄物を除く



10 t ダンプ（松本100 は30-18）

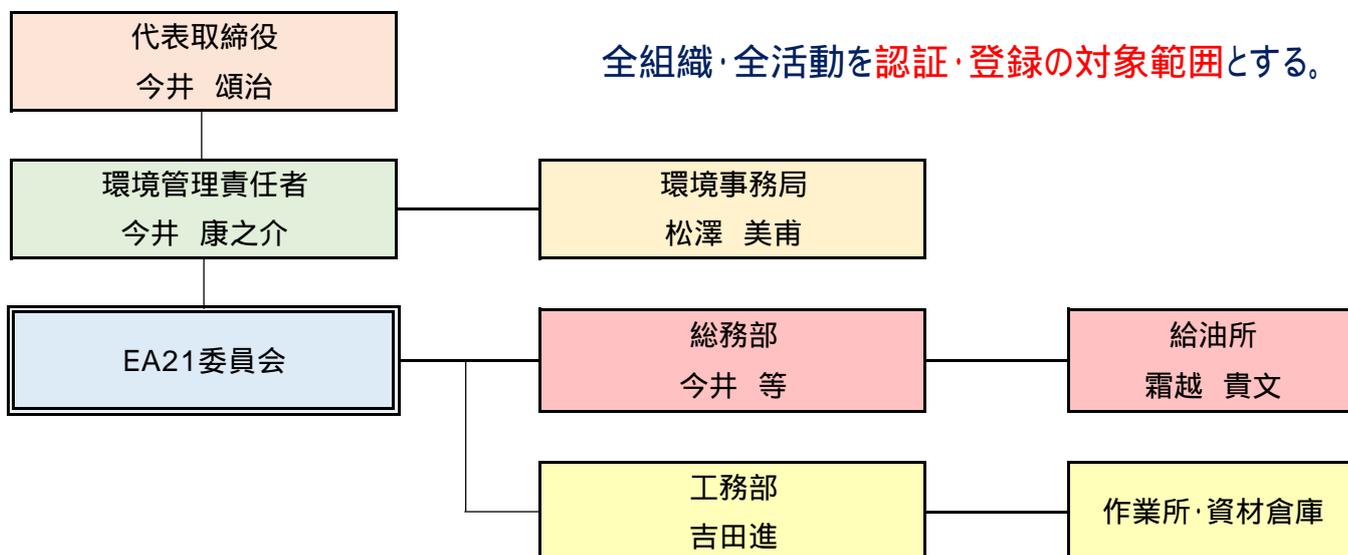
受託した産業廃棄物の処理量

| | | |
|----------|-------|---|
| 廃プラスチック類 | 7.0 | t |
| 木くず | 15.2 | t |
| がれき類 | 890.0 | t |
| 建設混合 | 9.3 | t |



10 t ユニック（松本100 は27-61）

2.実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

| 役職 | 役割・責任・権限 |
|---------|---|
| 代表者（社長） | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命。 環境経営方針の策定・見直し・指示及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 |
| 環境事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） |
| 部門長 | <ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 |

3.環境経営方針



環境に対する基本理念

株式会社今井工務店は、『未来へ続く技術と信頼の物づくり』という経営理念のもとに
私たちの未来のため、循環型社会の実現と環境負荷の低減を推進します。

- 
1. 環境に配慮した業務運営を図り、環境関連法規制や関係条例を順守します。
 2. 総合建設業を営む当社が環境に与える影響を考慮し、次の事項に対して優先的に取り組みます。

全てのディーゼル建機及び車輛を排出ガス浄化技術（尿素SCRシステム）搭載車へ移行させます。
各現場にゴミ分別BOXを設置し、木くず・鉄くず・廃プラ等の分別を徹底する事で再資源化を図ります。
河川水や雨水を優先的に利用する事で、水使用量の削減に努めます。
グリーン購入適合品(リサイクル製品)の購入を推進します。
工事現場毎に環境保全への創意工夫・地域貢献を実施します。
定期的に会社周辺の清掃活動（草刈り・ゴミ拾い）を行います。
 3. 環境経営レポートを公開し、地域社会及び顧客とのより良いコミュニケーションを構築します。



全社員に、この環境経営方針及び必要事項を周知し、
全員参加で環境経営の継続的な改善に努めます。



株式会社 今井工務店

制定日 2023年10月1日

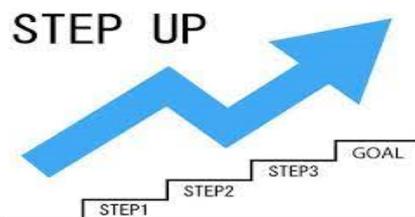
改定日

代表取締役

今井 頌治

4 1.環境経営目標（中長期目標）

昨年度（2022年）の年間実績を**基準値**に設定し、
2023年は**-2%削減**、2024年は**-3%削減**、2025年は**-4%削減**を
目標値として取組みを実施する。



| 項目 | 環境経営目標 | | 単位 | 基準値 (2022年) | 2023年 目標 | 2024年 目標 | 2025年 目標 |
|---------|-----------------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 二酸化炭素 | 電気使用量の削減 |  | kg-CO2 | 11,732 | 11693 -2% | 11573 -3% | 11454 -4% |
| | ガソリン使用量の削減 |  | kg-CO2 | 82,178 | 80534 -2% | 79712 -3% | 78890 -4% |
| | 軽油使用量の削減 |  | kg-CO2 | 534,698 | 524004 -2% | 518657 -3% | 513310 -4% |
| | 総量（灯油含む） | | kg-CO2 | 655,675 | 642,562 -2% | 636,005 -3% | 629,448 -4% |
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 |  | kg | 164 | 160 -2% | 159 -3% | 157 -4% |
| | 産業廃棄物の削減 |  | t | 2,416 | 2367 -2% | 2343 -3% | 2319 -4% |
| 水 | 水道水の削減 |  | m ³ | 1,049 | 1028 -2% | 1017 -3% | 1007 -4% |
| 製品・サービス | 環境保全への創意工夫・地域貢献 |  | 件 | 4件 | 全ての工事で1項目以上実施 | | |
| | 排ガス浄化技術搭載車の導入 |  | 台 | 2台 | 1台以上 | | |

4-2.環境経営目標（短期目標）

昨年10月～12月の実績を**基準値**に設定し、今回の試行期間は基準値**-2%削減**を**目標値**とした。

東北電力（株）2023年度調整後排出係数**0.483**(kg-CO₂/kWh)

中部電力ミライズ（株）2023年度調整後排出係数**0.382**(kg-CO₂/kWh)

| 項目 | 環境経営目標 | | 単位 | 基準値 (2022年10月～12月) | 目標値 |
|---------|---------------------|---|-----------------------------|-----------------------|---------------------|
| 二酸化炭素 | 電気使用量の削減 |  | kg-CO ₂ (kWh) | 2,114 (5,347) | 2,072 (5,240) |
| | ガソリン使用量の削減 |  | kg-CO ₂ () | 21,416 (9,230) | 20,988 (9,045) |
| | 軽油使用量の削減 |  | kg-CO ₂ () | 184,483 (71,505) | 180,793 (70,075) |
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 |  | k g | 30 | 29 |
| | 産業廃棄物の削減 |  | k g | 1,766,450 | 1,731,121 |
| 水 | 水道水の削減 |  | m ³ | 128 | 125 |
| 製品・サービス | 環境保全への 創意工夫・地域貢献 |  | 件 | 0件/1件 | 全件 |
| | 排ガス浄化技術 搭載車の導入 |  | 台 | 2台 | 1台以上 |

5.環境経営計画

目標達成手段を全社員に周知し、徹底して行う事により**コストの削減**を図る。

担当部門責任者とEA21委員会が定期的に点検を行う。違反があれば、その場で指摘し、直ちに是正させる。

| 項目 | 環境経営目標 | | 目標達成手段 | 担当部門 責任者 |
|---------|-----------------|---|---|-------------|
| 二酸化炭素 | 電気使用量の削減 |  | <ul style="list-style-type: none"> 事務所の照明は昼休み消灯する OA機器は省エネ設定にする 空調の適温化（冷房28℃・暖房20℃） クールビズ・ウォームビズの徹底 | 総務部 今井 |
| | ガソリン使用量の削減 |  | <ul style="list-style-type: none"> 駐停車時は必ずエンジンを停止する 省燃費運転を心掛ける 定期整備と日常点検を行う | 工務部 吉田 |
| | 軽油使用量の削減 |  | <ul style="list-style-type: none"> 駐停車時は必ずエンジンを停止する 重機作業は省燃費モードに設定して行う 定期整備と日常点検を行う | 工務部 吉田 |
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 |  | <ul style="list-style-type: none"> 使用済用紙の裏紙利用 使用済封筒の再利用 紙コップの使用廃止 チラシ等を古紙としてリサイクル化 | 総務部 今井 |
| | 産業廃棄物の削減 |  | <ul style="list-style-type: none"> ゴミ分別BOXの設置し、分別を徹底して行う 発注ミス等によるロスを減らす 建設資材（型枠等）の繰り返し利用 | 工務部 吉田 |
| 水 | 水道水の削減 |  | <ul style="list-style-type: none"> 冬期融雪水は川水を優先的に利用する 清掃・洗い物の際、かけ流し禁止 水栓付近に節水シールを貼る | 総務部 今井 |
| 製品・サービス | 環境保全への創意工夫・地域貢献 |  | <ul style="list-style-type: none"> 各現場ごとの実施状況確認 会社周辺の清掃活動 作業員の環境保全に対する意識向上 (ポスター掲示や参考資料の配布) 重機等を排ガス浄化技術搭載車に移行する | 工務部 吉田 |
| | 排ガス浄化技術搭載車の導入 |  | | |

6.環境経営目標の実績

エコアクション 2 1 を運用した『2023年10月～12月』における目標に対する実績は次のとおりであった。

二酸化炭素排出量の削減

| 項目 | 環境経営目標 | | 単位 | 目標値 | 実績 (2023年10月～12月) |
|-------|------------|--|-----------------|---------------------|----------------------|
| 二酸化炭素 | 電気使用量の削減 |  | kg-CO2 (kWh) | 2,072 (5,240) | 2,784 (7,156) |
| | ガソリン使用量の削減 |  | kg-CO2 () | 20,988 (9,045) | 20,406 (8,796) |
| | 軽油使用量の削減 |  | kg-CO2 () | 180,793 (70,075) | 106,397 (41,240) |

| 電気使用量の削減 | | ガソリン使用量の削減 | | 軽油使用量の削減 | |
|----------|------------|------------|-------------|----------|-------------|
| 達成状況 | BAD | 達成状況 | GOOD | 達成状況 | GOOD |

廃棄物排出量の削減

| 項目 | 環境経営目標 | | 単位 | 目標値 | 実績 (2023年10月～12月) |
|-----|----------|---|----|-----------|----------------------|
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 |  | kg | 29 | 35 |
| | 産業廃棄物の削減 |  | kg | 1,731,121 | 285,450 |

| 一般廃棄物の削減 | | 産業廃棄物の削減 | |
|----------|------------|----------|-------------|
| 達成状況 | BAD | 達成状況 | GOOD |

6.環境経営目標の実績

排水量の削減

| 項目 | 環境経営目標 | | 単位 | 目標値 | 実績 (2023年10月～12月) |
|----|--------|---|----------------|-----|----------------------|
| 水 | 水道水の削減 |  | m ³ | 125 | 76 |

| 水道水の削減 | |
|--------|-------------|
| 達成状況 | GOOD |

製品・サービスの提供

| 項目 | 環境経営目標 | | 単位 | 目標値 | 実績 (2023年10月～12月) |
|---------|---------------------|---|----|------|----------------------|
| 製品・サービス | 環境保全への 創意工夫・地域貢献 |  | 件 | 全件 | 全件 |
| | 排ガス浄化技術 搭載車の導入 |  | 台 | 1台以上 | 3台 |

| 環境保全への創意工夫 | |
|------------|-------------|
| 達成状況 | GOOD |

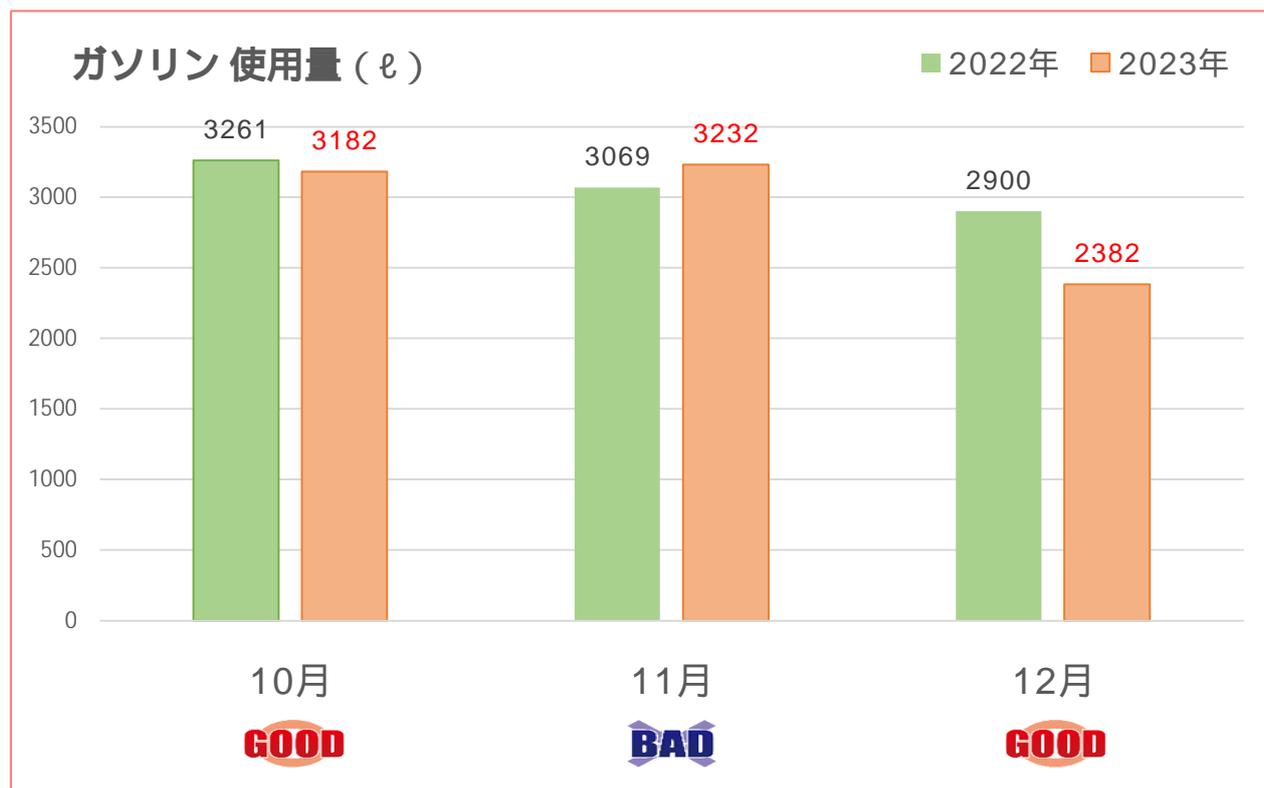
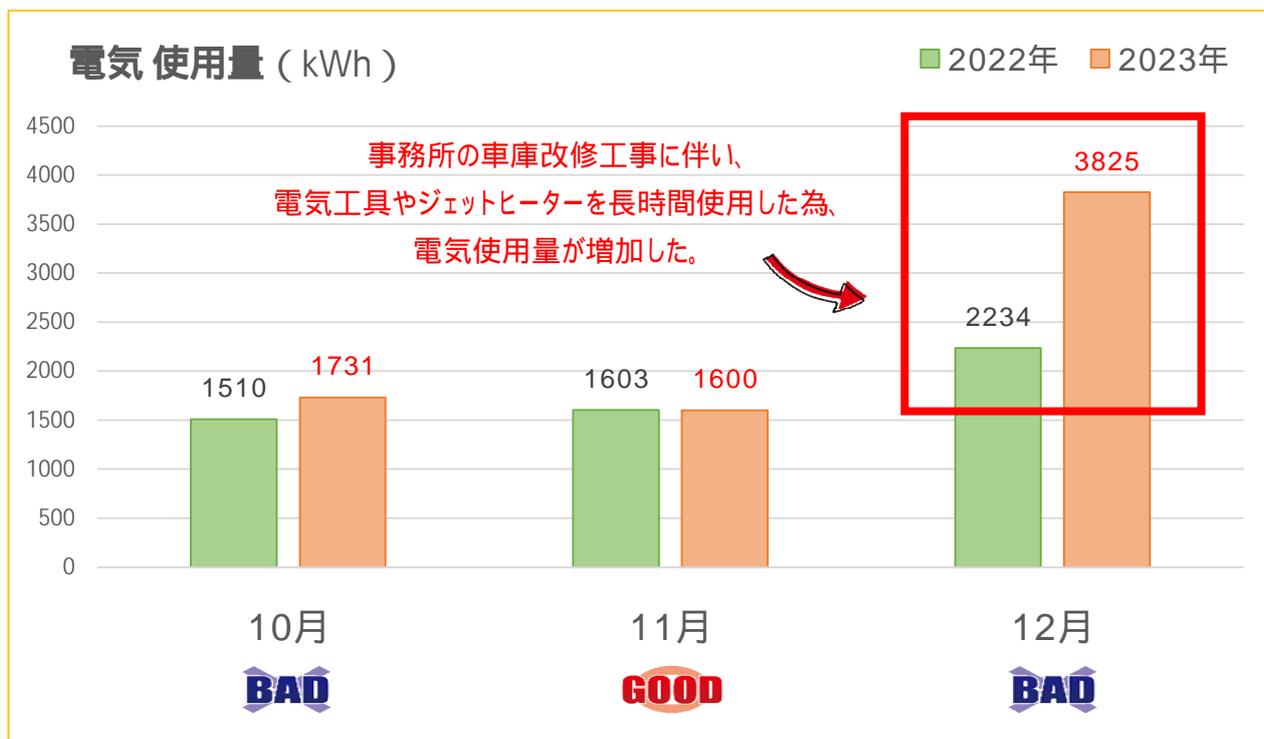
達成状況一覧



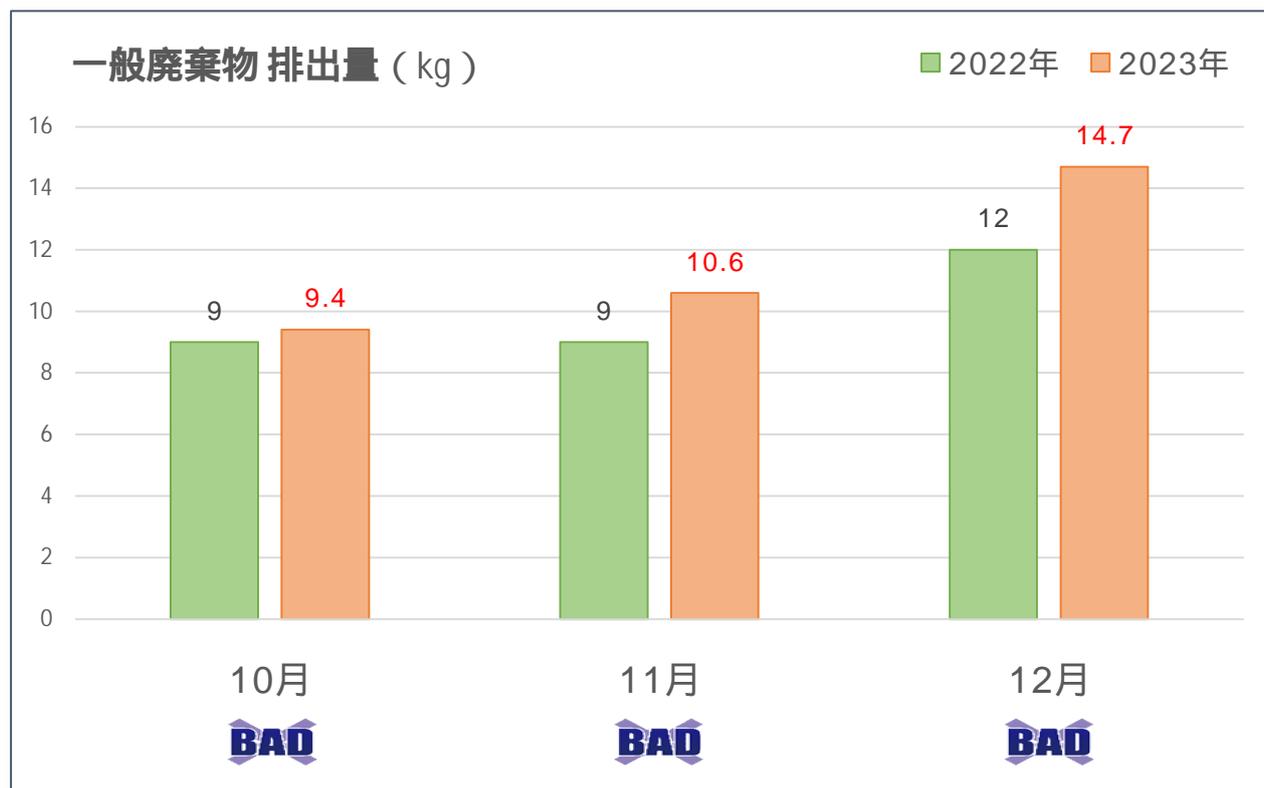
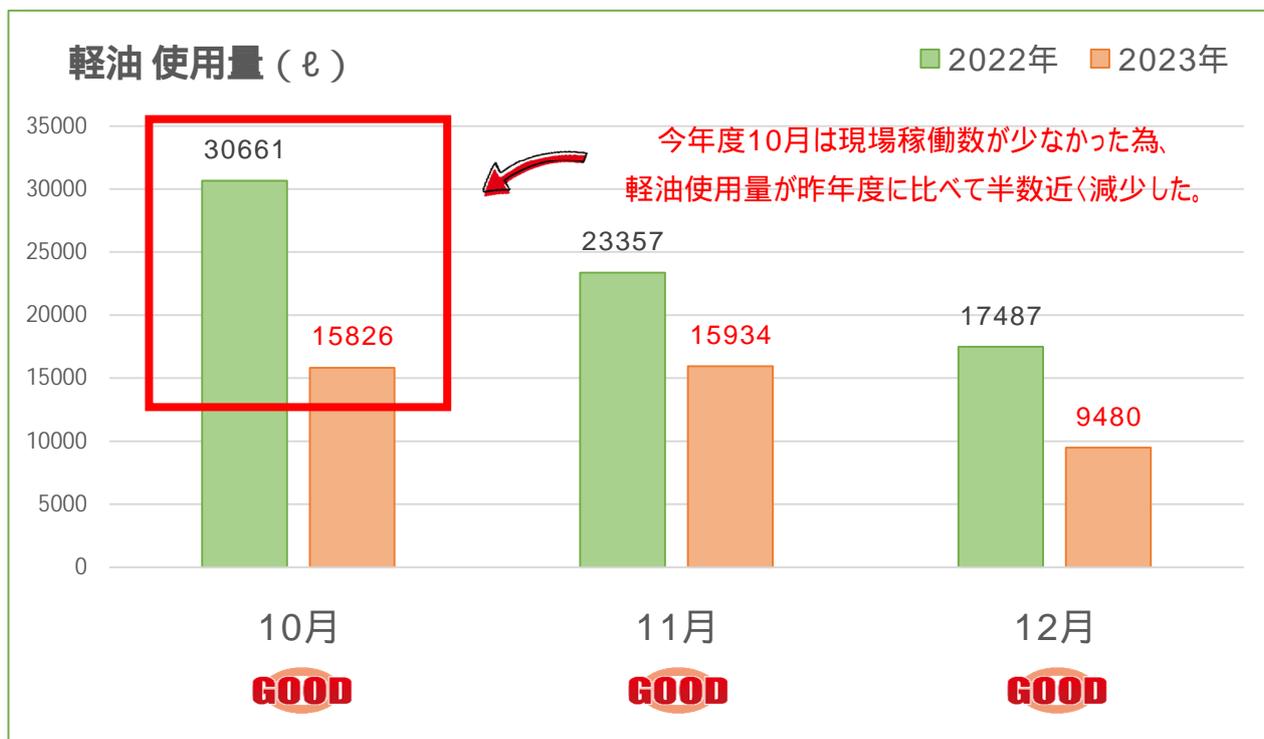
| | | | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 電気 | ガソリン | 軽油 | 一般 廃棄物 | 産業 廃棄物 | 水 | 製品 サービス |
| BAD | GOOD | GOOD | BAD | GOOD | GOOD | GOOD |

6.環境経営目標の実績

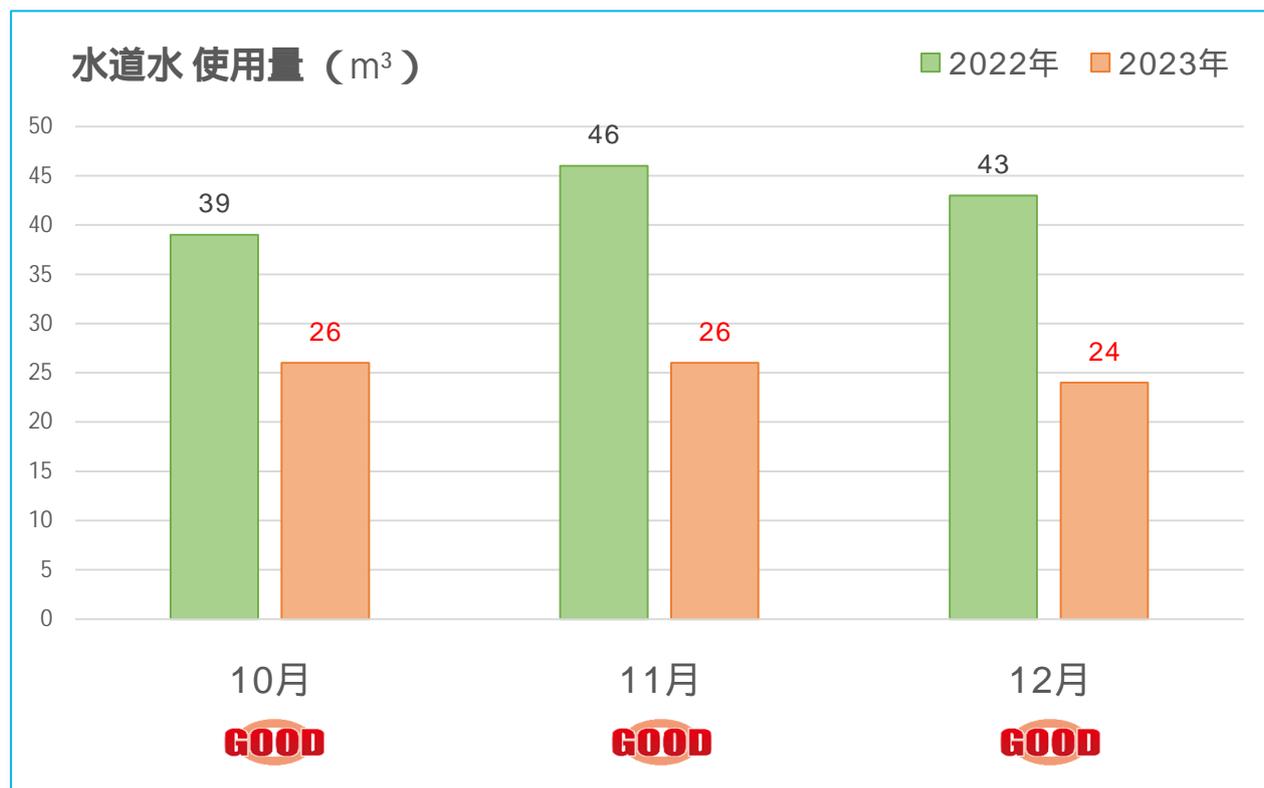
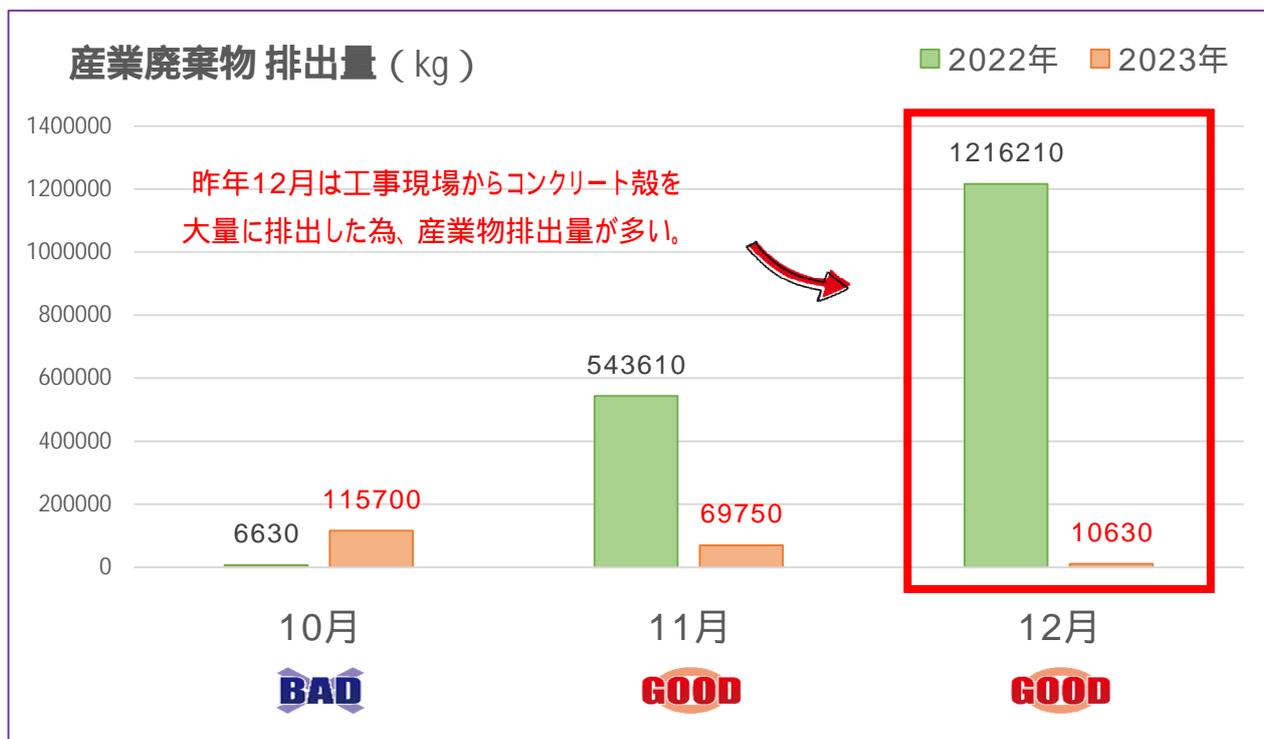
各項目の月別比較は以下の通りであった。



6.環境経営目標の実績



6.環境経営目標の実績



7-1.環境経営計画の取組結果と評価

よくできた ○おおむねできた あまりできなかった ×まったくできなかった

二酸化炭素排出量の削減

| 項目 | 環境経営目標 | | 目標達成手段 | 達成状況 |
|---------------|------------|--|----------------------|------|
| 二酸化炭素 | 電気使用量の削減 |  | ・事務所の照明は昼休み消灯する | |
| | | | ・OA機器は省エネ設定にする | ○ |
| | | | ・空調の適温化（冷房28 ・暖房20 ） | ○ |
| | | | ・クールビズ・ウォームビズの徹底 | |
| | ガソリン使用量の削減 |  | ・駐停車時は必ずエンジンを停止する | |
| | | | ・省燃費運転を心掛ける | ○ |
| | | | ・定期整備と日常点検を行う | ○ |
| | 軽油使用量の削減 |  | ・駐停車時は必ずエンジンを停止する | |
| | | | ・作業時は省燃費モードを選択する | ○ |
| ・定期整備と日常点検を行う | | | | |

評価（結果と今後の方針）

外気温が氷点下になると、暖房の設定温度20 では室内が暖まらなかった為、23 に設定し直すことがあった。今後はクールビズ・ウォームビズを取り入れつつ、設定温度を適温に調整していきたい。

廃棄物排出量の削減

| 項目 | 環境経営目標 | | 目標達成手段 | 達成状況 |
|-----|----------|---|------------------------|------|
| 廃棄物 | 一般廃棄物の削減 |  | ・使用済用紙の裏紙利用 | |
| | | | ・使用済封筒の再利用 | ○ |
| | | | ・紙コップの使用廃止 | |
| | | | ・チラシ等を古紙としてリサイクル化 | |
| | 産業廃棄物の削減 |  | ・ゴミ分別BOXの設置し、分別を徹底して行う | ○ |
| | | | ・発注ミス等によるロスを減らす | ○ |
| | | | ・建設資材（型枠等）の繰り返し利用 | ○ |

評価（結果と今後の方針）

ゴミ分別BOXの設置等により、社員の分別意識が少しずつ高まってきている。しかし、まだ混合ゴミの中に段ボールやペットボトルが混入している為、今後も継続して呼びかけを行っていききたい。

7-1.環境経営計画の取組結果と評価

よくできた ○おおむねできた あまりできなかった ×まったくできなかった

排水量の削減

| 項目 | 環境経営目標 | | 目標達成手段 | 達成状況 |
|----|--------|---|--------------------|------|
| 水 | 水道水の削減 |  | ・冬期融雪水は川水を優先的に利用する | ○ |
| | | | ・清掃・洗い物の際、かけ流し禁止 | |
| | | | ・水栓付近に節水シールを貼る | |

評価（結果と今後の方針）

川水を利用した消雪パイプを駐車場に設置したことにより、冬季の排水量削減を図った。
 会社入口の消雪パイプは水道水を使用している為、今後は川水を利用した消雪パイプに切り替えていきたい。

製品・サービスの提供

| 項目 | 環境経営目標 | | 目標達成手段 | 達成状況 |
|---------|---------------------|---|--|------|
| 製品・サービス | 環境保全への 創意工夫・地域貢献 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・各現場ごとの実施状況確認 ・会社周辺の清掃活動 ・作業員の環境保全に対する意識向上 | ○ |
| | 排ガス浄化技術 搭載車の導入 |  | <ul style="list-style-type: none"> （ポスター掲示や参考資料の配布） ・重機等を排ガス浄化技術搭載車に移行する | |

評価（結果と今後の方針）

12月に竣工した全ての工事（3件）で環境保全への創意工夫・地域貢献を1項目以上実施することができた。
 来年度も工事着工前に行う『施工検討会』にて各現場担当者呼びかけ、現場ごとに環境保全に対する取り組みを実施してもらう。
 また、今年度新たに3台の排出ガス浄化技術搭載車を導入した。（バックホウ2台・クローラダンプ1台）
 今後も古くなった機械から優先的に排出ガス浄化技術（尿素SCRシステム）搭載車へ移行していきたい。

7 2.次年度の目標及び計画

エコアクション21を運用した『2023年10月～12月』の実績と取組結果を基に作成した【次年度の目標及び計画】は以下の通りである。

東北電力（株）2023年度調整後排出係数0.483(kg CO2/kWh)

中部電力ミライズ（株）2023年度調整後排出係数0.382(kg CO2/kWh)



《次年度目標》

| 項目 | 単位 | 2022年度 基準値 | 2023年度 実績 | 2024年度 目標 | 2025年度 目標 |
|------------------|-----------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 二酸化炭素排出量 | 総量（kg CO2/年） | 655,675 | 518,320 | 636,005 | 629,448 |
| 廃棄物排出量 | 総量（t/年） | 2,580 | 523 | 2,503 | 2,477 |
| 水使用量 | 総量（m ³ /年） | 1,049 | 481 | 1,018 | 1,007 |
| 各現場ごとの環境に対する創意工夫 | 件/年 | 4件 | 全件 | 全件 | 全件 |
| 排ガス浄化技術搭載車の導入 | 台/年 | 2台 | 3台 | 1台以上 | 1台以上 |

2023年度の実績値はレポート作成日（2024年1月31日）までを集計した値である。

2024年度は基準値 - 3%、2025年度は基準値 - 4%を目標とする。



《次年度計画》

| 二酸化炭素排出量 | | |
|----------------------|------------------------|--------------------|
| 電気使用量の削減 | ガソリン使用量の削減 | 軽油使用量の削減 |
| ・事務所の照明は昼休み消灯する | ・駐停車時は必ずエンジンを停止する | ・駐停車時は必ずエンジンを停止する |
| ・空調の適温化（冷房27℃ 暖房21℃） | ・省燃費運転を心掛ける | ・作業時は省燃費モードを選択する |
| ・クールビズ・ウォームビズの徹底 | ・定期整備と日常点検を行う | ・定期整備と日常点検を行う |
| 廃棄物排出量 | | 水使用量 |
| 一般廃棄物の削減 | 産業廃棄物の削減 | 水道水の削減 |
| ・使用済用紙の裏紙利用 | ・ゴミ分別BOXの設置し、分別を徹底して行う | ・冬期融雪水は川水を優先的に利用する |
| ・紙コップの繰り返し使用 | ・発注ミス等によるロスを減らす | ・清掃・洗い物の際、かけ流し禁止 |
| ・チラシ等を古紙としてリサイクル化 | ・建設資材（型枠等）の繰り返し利用 | ・水栓付近に節水シールを貼る |
| 製品・サービス | | |
| 環境保全への創意工夫・地域貢献 | 排ガス浄化技術搭載車の導入 | 建設DX導入による生産性の向上 |
| ・各現場ごとの実施状況確認 | ・老朽化した機械の買い替え | ・業務システムのクラウド化 |
| ・作業員の環境保全に対する意識向上 | ・排ガス浄化技術搭載車の優先的購入 | ・ICT施工技術の活用 |



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

| 適用される法規制等 | 要求事項 | 遵守状況 |
|------------------|---|------|
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 一廃収集業者の許可証確認（写し保管） | ○ |
| | 産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管 | ○ |
| | 保管基準 （60cm×60cm以上表示、飛散・浸透防止、衛生管理） | ○ |
| | マニフェスト交付 B2、D、E票の保管（5年間） D票90日、E票180日以内に送付されない場合は 30日以内の知事への報告 | ○ |
| | 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 | ○ |
| | 自社による運搬時の表示、書類携行 | ○ |
| | 産業廃棄物処理実績報告書の提出 | ○ |
| 建設リサイクル法 | 分別解体等及び再資源化等の実施義務 一定規模以上工事 （解体：80㎡・新築・増築：500㎡・修繕・模様替：1億円） | ○ |
| | 発注者への再資源化等完了報告と記録の保存 | ○ |
| 騒音・振動規制法 | 特定建設作業の届け出 （指定地域内での特定建設作業、騒音の大きさ85デシベル） | |
| | 規制基準の順守 | |
| 水質汚濁防止法 | 貯油施設の事故時の対応と届出 | ○ |
| | 特定施設の届出 | ○ |
| | 排水濃度の測定・記録 | ○ |
| | 事故時の措置届出 | ○ |
| フロン排出抑制法 | フロン類の適切な処理（回収・破壊の工程の確認） | |
| | 漏洩時の修理・算定漏洩量の報告・記録・保存 | |
| | 業務用エアコン等の簡易点検（3カ月に1回以上）・記録・保存 | ○ |
| 消防法 | 危険物保安監督者の選任 | ○ |
| | 危険物取扱者保安講習の受講（3年に1回） | ○ |
| | 予防既定の遵守（部分訓練・総合訓練の実施） | ○ |
| | ・地下貯蔵タンク ・移動貯蔵タンク の定期点検（1年に1回以上） ・給油取扱所 | ○ |
| | 消防設備の設置 | ○ |

10.環境活動の紹介

二酸化炭素排出量の削減に向けた取組み



尿素SCRシステム搭載車の導入

今年度、3台の重機を**尿素SCRシステム搭載車**に買い換えました！

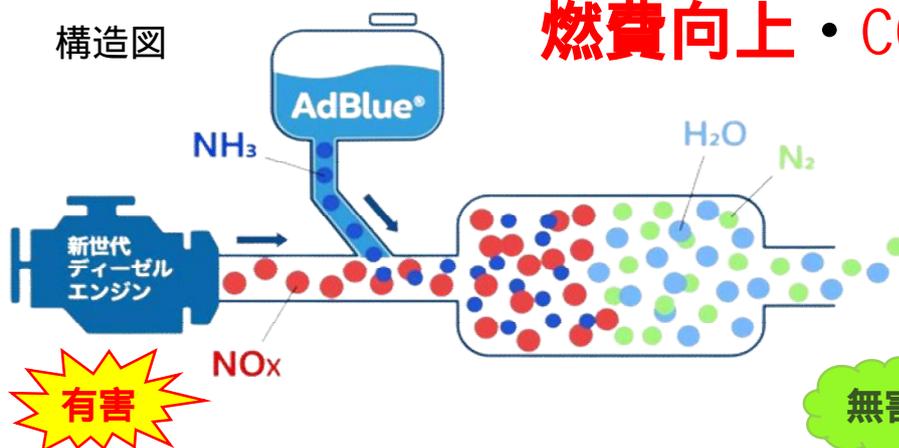
- 今年度 買い替えた重機
- クローラダンプ (CD110R)
- バックホウ (PC200)
- バックホウ (PC350)



尿素SCRシステムって何？

尿素SCRシステムとは、**アンモニア**を使って**窒素酸化物 (NOx)**を減らすための、排気ガス浄化システムのことです。

構造図



燃費向上・CO2削減に貢献！



10.環境活動の紹介

廃棄物排出量の削減に向けた取組み



ゴミ分別BOXの設置

建設現場でのゴミの分別は、作業員一人一人の**分別意識を高める**必要がある為、分別標識を**大きめ**にして、イメージアップ看板を取り付けるなどの工夫をしました。



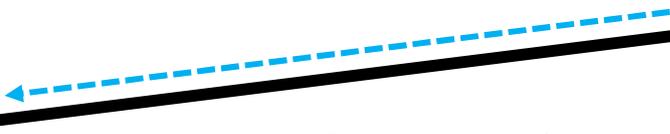
排水量の削減に向けた取組み



川水を利用した消雪パイプの設置

当社駐車場に**川水を利用した消雪パイプ**を設置しました。排水量の削減だけでなく、除雪機械の燃料や労力の削減にも繋がっています。

また、夏季には**打ち水**として利用することで、**暑さ対策**としても活躍しています。



高低差によって水が流れています。

10.環境活動の紹介

製品・サービスの向上に向けた取組み



肥料を与えている様子

桜の木の保全活動

6月に**全社員参加**で会社周辺の清掃活動を行いました。

北小谷下寺地区の美しい桜並木を守るために、桜の木周辺の草刈り・ゴミ拾いを行い、弱っている桜の木には肥料を与えました。今後もこの活動を継続し、地域に貢献していきたいと思います！



作業前



作業後



作業前ミーティングを行った後、班ごとに分かれて、作業を行いました！

9.代表者による全体の評価と見直し・指示

| 指示事項 | 変更の必要性 | 指示内容 |
|----------------------|--|---|
| 環境経営方針 (4ページ目) | あり・ <input checked="" type="checkbox"/> なし | これまでに実施してきた取組みについては、今後も継続して行っていただきたい。 今後はICT建機やクラウドサービスを活用し、『建設DX』に取り組むことで生産性を向上させ、環境に対する負荷の低減に努めていただきたい。 |
| 環境経営目標 (5ページ目) | あり・ <input checked="" type="checkbox"/> なし | 今回の試行期間では前年度 2%削減を目標としているが、軽油使用量や産業廃棄物排出量については工事受注量であったり、工事内容に大きく左右される為、今後の基準値の設定方法については過去3年間の平均値から決めるなどの改善があっても良い。 |
| 環境経営計画 (6ページ目) | あり・ <input checked="" type="checkbox"/> なし | 目的達成手段については達成状況を踏まえて、随時更新していく必要がある。 資料を配布したり、現場事務所に掲示する事で環境経営計画を全社員に周知していただきたい。 環境保全に関する教育を各現場ごとに行っている安全教育や新規入場者教育に取り入れても良いと思う。 |
| 環境経営システム (全体を通して) | あり・ <input checked="" type="checkbox"/> なし | 今回、EA21委員会が主体となって、環境経営目標・環境経営計画の作成などをしていただいたが、これを運用し、継続的な改善を進めていくためには社員一人一人の協力が不可欠となるので、声掛けをお願いします。 |

2024年1月31日
代表取締役 今井 頌治

最後までご覧いただきありがとうございます



にてPR動画公開中！

